

淡路地域サイクルツーリズム推進方策

アワイチ推進 プログラム50



2019年12月

兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた
淡路地域モデルルート推進協議会

アワイチ推進プログラム50

① 策定の背景

● 国の動き

- ・自転車活用推進法の施行(2017年5月)
- ・自転車活用推進計画の策定(2018年6月)
目標の一つに「サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現」

● 県の動き

- ・「アワイチ」人気の高まりを受け、淡路地域においてサイクリングを核にした地域活性化の取り組みに着手(2010年)
- ・「兵庫県自転車活用推進計画」の策定に着手(2019年4月)
- ・県内各地域で地域を代表するモデルルート、サイクルツーリズム推進方策の検討に着手(2019年4月)

現状

淡路島におけるサイクリングの強み

- ・大都市からのアクセス
- ・ルートの魅力(距離、コースバリエーション、島を一周する達成感、海を眺めながら走る爽快感等)
- ・食事(ご当地グルメ等) ・絶景スポット ・温泉

淡路島におけるサイクリングの弱み

- ・自転車の走行空間、環境
- ・交通手段
- ・ルートの案内
- ・舗装の痛みや段差
- ・サイクリスト向け情報提供
- ・休憩箇所、給水箇所

※サイクリストアンケート調査結果より(2019年、洲本土木事務所)

② 基本的事項

モデルルート

淡路地域を代表するモデルルートは、淡路島の海岸線沿いを時計回りに一周する「アワイチ」(延長約150km)とする

基本方針

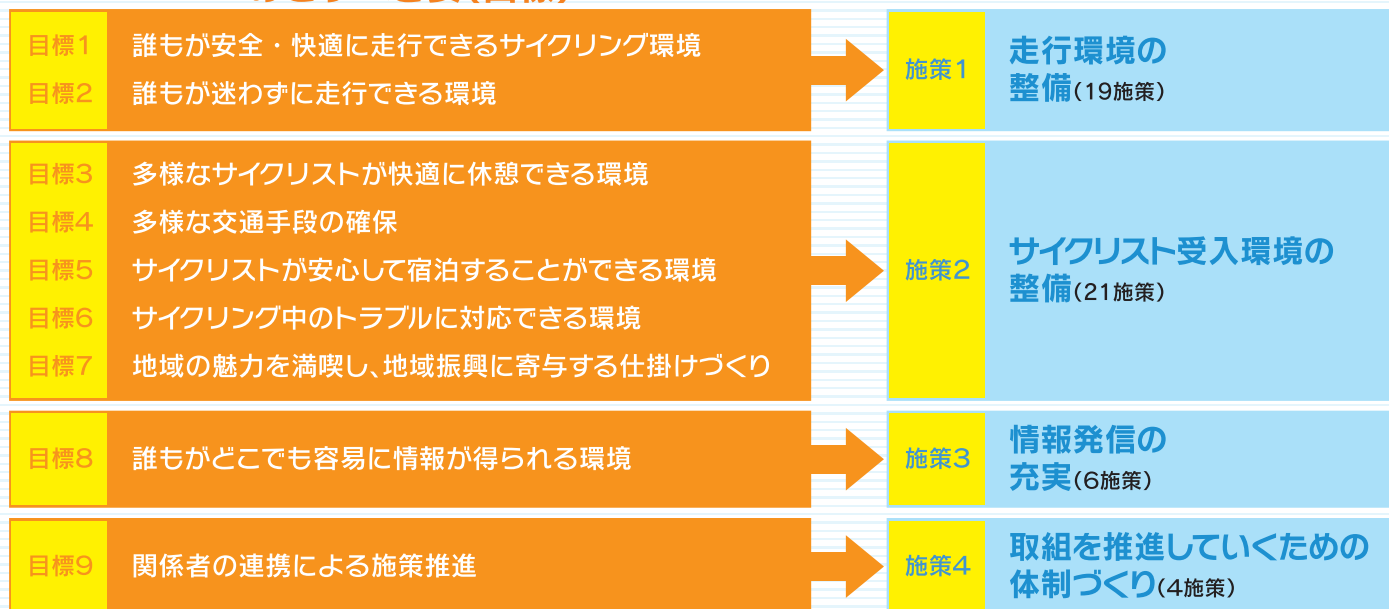
【目的】サイクルツーリズムを進め、**淡路島の魅力を発信し、交流人口の拡大による地域の活性化**を図る
[進め方] **ナショナルサイクルルートの指定**に向け、「アワイチ」の走行環境や受入体制等の整備等の取り組みを関係者連携のもと進める

計画期間

2019(令和元)年度から2023(令和5)年度までの5年間

③ 施策目標及び実施施策

めざすべき姿(目標)



④ 数値目標

「アワイチ」の年間走行台数



2倍(2023年)
1.5倍(2021年、中間年)

(洲本市小路谷) 現状値 2万台【2019年】
(淡路市郡家) 現状値 3.5万台【2019年】

目標値 4万台【2023年】 3万台【2021年】
目標値 7万台【2023年】 5.5万台【2021年】